

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

評価対象年度	2018年度		
施設名	デイサービス南大谷		
所在地	町田市南大谷264		
施設ホームページURL	http://www.ohmikai.com/		
指定管理者名	特定非営利活動法人 桜実会	法人番号	5012305000371
指定管理者所在地	町田市玉川学園2-6-6 デンコビル1階102		
指定期間	2014年4月1日～2019年3月31日		
所管部課	いきいき生活部高齢者福祉課	問合せ先	042-724-2141
利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 施設概要

設置目的	市内の介護を要する在宅の高齢者等を通所させ、介護保険法に基づくサービス等を提供することにより、その者が尊厳を保持し、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう支援するため
設置根拠法令・条例	町田市高齢者在宅サービスセンター条例
施設概要	<p>【施設概要】</p> <p>[名称]デイサービス南大谷 [事業所名称]デイサービス南大谷 [所在地]町田市南大谷264番 [開館年月]1999年12月 [延床面積]200.84㎡ [建物構造]鉄筋コンクリート9階建(うち1階部分) [営業日]月～土(12月31日から1月3日を除く)</p> <p>【事業概要】</p> <p>介護保険法、町田市高齢者在宅サービスセンター条例に基づき、以下に示す事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法第8条第7項に規定する通所介護 ・法第115条の45第1項第1号ロに規定する第一号通所事業

3. 昨年度の課題

内容	利用率向上のための冬場の健康増進プログラムの強化及び地域連携のための自主事業の強化
----	---

4. 総合評価及び所見

総合評価	A	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、昨年度の課題への対応等)	<p>【課題への取り組み】</p> <p>冬期に感染症等の体調不良により利用率が下がることを課題とし、音楽体操教室やお腹元気体操、からだ元気体操、呼吸器を鍛える吹き矢、手洗いうがいの励行などに取り組んだ。その効果が検証はできないが、例年のような冬期の利用率の低下が無く、向上した。更に、新たにそれらの教室を地域にも向けた公開講座を実施した。今年度は参加者数が少なく、周知を工夫するなど改善に向けた取り組みも実施して欲しい。</p> <p>【サービスの質と業務履行状況について】</p> <p>利用者満足度では、施設規模が小さいこともあり、利用者、職員の距離が近く、良い関係づくりができており、安定して高い評価を得られている。</p> <p>業務履行状況における職員の指導育成については、すでに個人評価表等の作成が行われているが、それに基づく研修等が実施されていない。今後は、個人のスキルアップが図れるような指導育成計画の策定についての検討を進めて欲しい。</p> <p>【次年度の課題】</p> <p>次年度は、利用希望も多い機能訓練などサービスの充実や、利用者動向の把握のためアンケート調査の分析など新規利用者の獲得に向けて取り組んで欲しい。</p>	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携を強化するために、「音楽体操教室」や「お腹元気体操」「からだ元気体操」「絵手紙教室」などの自主事業を実施して来ました。利用者はもとより地域住民の方々も気軽に参加出来るようチラシを掲示したり、参加を呼び掛けてまいりましたが、地域住民の方々の参加は少ない状況でした。地域住民の方々からは、「入りにくい。」との声もありましたので、参加を促す声掛けやプログラムの内容等も検討して、自主事業を積極的に取り組んでいきます。 ・2018年度の登録利用者数は65名から69名となりましたが、利用率の安定化のため登録利用者数を70名超を目指します。 ・2018年度の利用率は、83%と目標値(85%)に届きませんでした。次年度は利用率の改善を図り、目標値を達成いたします。 ・2018年度に介護職員評価シートを実施しました。今年度は、評価シートを活用して職員のレベルアップを図ります。 ・利用者満足度向上のため、アンケート調査はもとより日常の利用者との関わりの中から「不満に思っている事」「要望等」を感じ取り、いち早く対応する事で満足度向上を図っていきます。また、職員間の情報共有のため日々のミーティングや会議の場において情報の共有化を図ります。 	

5. サービスの質に関する評価

指標1	評価基準	目標	結果	評価	評価コメント (前年度の課題・次年度への課題)
利用者満足度 (職員・スタッフについて)	A:85%以上 B:70%～85%未満 C:70%未満	98%	94%	A	【調査期間】2018年12月1日～12月15日 【配布枚数】64枚(登録利用者65名) 【回収枚数】56枚【回収率】88% 【調査方法】第三者評価を実施。用紙は本人または家族に手渡し。回収は、回収ボックスや袋を設置して、匿名性を確保している。 【評価コメント】不満は特になく、利用者からは高い評価を得られている。結果を分析して、引き続き維持向上に努めて欲しい。
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2014	2015	2016	2017	2018
目標値	75	75	85	85	98
実績値	94	84	90	97	94
達成率	125.3%	112.0%	105.9%	114.1%	95.9%

指標2	評価基準	目標	結果	評価	評価コメント (前年度の課題・次年度への課題)
利用者満足度 (施設・サービスについて)	A:80%以上 B:60%～80%未満 C:60%未満	85%	89%	A	【評価コメント】概ね高評価を得られている。個々の利用者の希望をとらえて、更なる利用者満足度の向上に努めて欲しい。
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2014	2015	2016	2017	2018
目標値	65	65	85	85	90
実績値	96	85	91	88	89
達成率	147.7%	130.8%	107.1%	103.5%	98.9%

指標3	評価基準	目標	結果	評価	評価コメント (前年度の課題・次年度への課題)
利用率 (1日あたり平均)	A:90%以上 B:80%～90%未満 C:80%未満	85%	83%	B	【定員】25名 【1日あたり平均】20.7名 【評価コメント】冬場も利用者数を確保できたことで、利用率を向上することができた。また、ケアマネージャーへの周知ができたことにより新規利用者も多く獲得できた。引き続き、新規利用者数の増加に向けて取り組んでほしい。
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2014	2015	2016	2017	2018
目標値	85	85	85	85	85
実績値	82	77	74	80	83
達成率	96.5%	90.6%	87.1%	94.1%	97.6%

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	2018年度の利用者満足度調査は第三者評価で実施している。回収方法は回収ボックス等を利用しており、匿名性が確保されている。自主アンケートの際も同様に匿名性が確保できるよう留意して欲しい。 職員及び施設サービスに関して、利用者から非常に高い評価を得られている。引き続き、利用者の意見要望を把握しながら、今後も維持向上に努めて欲しい。 利用率は、積極的なうがいや手洗い、呼吸器の体操などを取り組んだこともあり、冬場の利用率を向上することができた。利用者サービスの向上にも繋がる取り組みであり、更に取り組みを強化し、利用率の向上に努めて欲しい。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否	判定コメント
平等利用の確保	平等・公平な取扱い	利用希望者全ての受入	利用を希望された方は全て受入	適	ヒアリング、パンフレット、問い合わせ・体験利用状況簿にて確認。
	サービス内容の公開	パンフレット、ホームページなどでサービスの内容を公開	パンフレット等で公開	適	パンフレット、南大谷通信、さくらの実通信にて確認。
施設の運営方針・管	設備機器安全管理・保守点検	機器に応じた点検の実施	消防設備、空調、厨房等は年1点検、機械警備を実施	適	点検結果報告書、保守点検表にて確認。 自動ドア点検等で必要な点検の確認を依頼。
	適正な自己評価	定期的な実施	都の自己点検票を用いて年1回実施、第三者評価を受審	適	自己点検票、第三者評価結果報告書にて確認。 介護予防の自己点検表の実施を依頼。
自主事業	地域交流	地域交流会の開催	子供祭り、見守り支援ネット等に職員が参加、月10回程度の趣味講座を開放	適	子供祭り収支報告書、議事録、月間行事予定表、パンフレットにて確認。
	地域への情報発信	利用者以外の地域への情報発信	趣味講座やボランティア募集のお知らせを掲示	適	掲示板にて確認。
情報公開・個人情報保護	個人情報の適切な保管	保管場所のセキュリティを確保	紙媒体は書棚に施錠して保管、電子は電子キーで施錠	適	実地調査にて確認。
	情報公開の制度を周知	利用者等に制度を説明	契約時に利用者等へ制度を説明	適	契約書にて確認。
苦情対応	対応記録の共有	要望・苦情記録簿等による情報共有	反省会記録にて情報を共有	適	反省会記録、事故報告書、ヒヤリハット報告書にて確認。 対応方針および対応者の表記、職員間での情報共有も依頼。
	苦情の発生抑制のための対策	相談窓口の周知	契約時に利用者へ制度を説明	適	重要事項説明書にて確認。
危機管理	緊急時に備えた体制	マニュアルに沿った指導訓練の実施	年6回火災訓練を実施	適	緊急時対応マニュアル、自衛消防訓練通知書及び実施結果記録書にて確認。 自然災害を想定した訓練の実施検討を依頼。
	リスクへの対応能力	保険等への加入	賠償責任保険に加入	適	保険証券にて確認。
人的安定性	職員の指導育成	計画的な研修の実施	研修日程表を作成し、研修を実施	適	研修日程表、研修報告にて確認。 計画的な研修ができるよう、評価票の活用を依頼。
	適切な人員配置	法令を遵守した人員配置	生活相談員(管理者)1名、介護職員3名、看護師1名以上を配置	適	勤務表にて確認。
管理経費の縮減	管理経費の縮減に向けた取り組み	光熱水費や消耗品などの経費の縮減	節電や節水の実施、新電力の利用	適	実地調査、ヒアリングにて確認。
	職員への周知・啓発	職員への周知・啓発の実施	節電や節水について掲示	適	実地調査にて確認。

地元貢献	地域教育機関等との交流	実習生や仕事体験・ボランティアの受け入れ	職場体験2名、教員初任者研修18名、その他ボランティア695名の受入	適	依頼文、ボランティア活動人数表にて確認。
	市民雇用	町田市民の割合が50%以上	職員26名中24名の92%が町田市民	適	職員一覧表にて確認。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	年度	2014		2015		2016		2017		2018	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	利用料金	43,700	49,757	43,900	45,234	47,947	42,687	44,200	51,332	44,300	52,325
	自主事業	5,200	6,494	5,250	6,283	6,094	6,169	5,310	1,158	5,350	1,363
	その他		19		214		19		21		20
	計	48,900	56,270	49,150	51,731	54,041	48,875	49,510	52,511	49,650	53,708
支出	人件費	37,530	39,494	37,790	40,404	36,045	35,566	38,020	35,519	38,070	36,808
	維持管理経費	11,190	11,855	11,250	11,840	12,775	12,030	11,260	11,675	11,270	12,768
	自主事業								1,085		1,323
	その他										0
計	48,720	51,349	49,040	52,244	48,820	47,596	49,280	48,279	49,340	50,899	
総計(収入-支出)		180	4,921	110	-513	5,221	1,279	230	4,232	310	2,809

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表団体を記載する。

単位:%

	2014	2015	2016	2017	2018
経常利益率	0.2	0.2	0.0	0.4	0.1
負債比率	11.7	10.0	10.0	13.7	12.1

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	利用率は向上しているが、維持管理経費等が増加したため、昨年度より収支総計が減少している。収支的には昨年度と同様に黒字であり、法人本部も昨年度と同様になっており、中期的には安定していると考えられる。